

簡易公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公示
(建築のためのサービスその他の技術的サービス(建築工事を除く))

次のとおり技術提案書の提出を招請します。

本業務は、電子契約システム対象案件である。

令和 5年 9月 21日

分任支出負担行為担当官

金沢港湾・空港整備事務所長 舟川 幸治

1. 業務概要

(1) 業務名 金沢港浚渫土砂利活用検討業務

(2) 業務内容

本業務は、金沢港における海洋環境の保全、再生又は創出に資する浚渫土砂の利活用方法について検討を行うものである。

(3) 履行期限 令和 6年 3月 28日

(4) 本業務は提出書類、入札等を電子入札システムで行う対象業務である。

なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得た場合に限り紙入札方式に代えることができる。

(5) 本業務は、契約手続きにかかる書類の授受を、原則として電子契約システムで行う対象業務である。なお、電子契約システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙方式に代えるものとする。

(6) 本業務は、令和5年4月1日時点で満40歳未満の管理技術者を定期的に指導する経験豊富な技術者(以下、技術指導者)を配置できる「若手技術者登用促進型」の試行業務である。なお、技術指導者の配置については、参加表明書の提出者が選択できるものとする。

(7) 本業務は、契約締結後に「積算の内訳」を示す資料を公表する業務である。「積算の内訳」については、契約後に適宜、北陸地方整備局港湾空港部ホームページ(<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/keiyaku/kekka/koujisekkeisyo/>)により公表する。

2. 参加資格

(1) 技術提案書の提出者に要求される資格

技術提案書を提出しようとする者は、1)に掲げる資格を満たしている単体企業であること。

単体企業

① 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

② 北陸地方整備局(港湾空港関係)における令和5・6年度「建設コンサルタント等」に係る一般競争(指名競争)参加資格のA等級の決定を受けていること。

なお、当該資格の決定を受けていない者も参加表明書を提出することができるが、その者が技術提案書の提出者として選定された場合であっても、技術提案書を提出するためには、技術提案書提出時において、当該資格の決定を受けていなければならない。

③北陸地方整備局から指名停止を受けている期間中でないこと。

④警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(2) 技術提案書を提出しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。(入札説明書参照)

3. 技術提案書の提出者を選定するための基準

(1) 参加表明者の同種又は類似の業務実績、業務成績、業務表彰

(2) 配置予定管理技術者の資格、経歴、同種又は類似の業務実績、業務成績、技術者表彰

(3) 当該業務の実施体制(再委託又は技術協力の予定を含む。)

4. 技術提案書を特定するための評価基準

(1) 配置予定技術者の資格、経歴、同種又は類似の業務実績、業務成績、技術者表彰

(2) 業務内容の理解度、実施手順の妥当性等

(3) 特定テーマの的確性、実現性等

5. 手続等

(1) 担当部局

〒920-0331 石川県金沢市大野町4丁目2-1

北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 契約担当

電話 076-267-2241 E-mail: pa.hrr-eb-kzp@mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

説明書は、「港湾空港関連入札・契約情報(PAS)」からダウンロードすることにより交付する。

HPアドレス: <https://www.pas.ysk.nilim.go.jp/>

交付期間: 表-1のとおり。

(3) 参加表明書の提出期限、提出場所及び方法

提出期限: 表-1のとおり。

提出場所: 紙入札方式による場合は上記(1)に同じ。

提出方法: 電子入札システムにより提出すること。

ただし、発注者の承諾を得て紙入札方式による場合は、持参、郵送(書留郵便等の配達記録が残るものに限る。)又は託送(書留郵便と同等のものに限る。)に限る。

(4) 技術提案書の提出期限、提出場所及び方法

提出期限: 表-1のとおり。

提出場所: 紙入札方式による場合は上記(1)に同じ。

提出方法: 電子入札システムにより提出すること。

ただし、発注者の承諾を得て紙入札方式による場合は、持参、郵送(書留郵便等の配達記録が残るものに限る。)又は託送(書留郵便と同等のものに限る。)に限る。

6. その他

- (1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 契約保証金 免除。
- (3) 契約書作成の要否 要
- (4) 当該業務に直接関連する他の業務の契約を当該業務の契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無
- (5) 関連情報を入手するための照会窓口 5.(1)に同じ。
- (6) 技術提案書に関するヒアリングを行う。
- (7) 詳細は説明書による。

表 - 1

<p>説明書の交付期間</p>	<p>令和 5年 9月21日 (木) から令和 5年11月 2日 (木) まで</p>
<p>参加表明書の提出期限</p>	<p>令和 5年 9月21日 (木) から令和 5年 9月29日 (金) までの 土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日9時00分から16時00分、 並びに令和 5年10月 2日 (月) 9時00分から12時00分まで</p>
<p>技術提案書の提出期限</p>	<p>令和 5年10月18日 (水) から令和 5年11月 2日 (木) までの 土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日9時00分から16時00分、 並びに令和 5年11月 6日 (月) 9時00分から12時00分まで</p>